

<教育の基礎的理解に関する科目等>

科目区分	施行規則に定める科目区分等	開講科目名	開講単位	履修方法	修得単位	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	T	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2	T	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2	T	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	T	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援(中・高)	1	T	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論(中・高)	2	T	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法(中)※	2	T	2	中学校のみ
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中・高)	2	T	2	
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中・高)	2	T	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法学(中・高)	2	T	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法(中・高)	2	T	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談の理論及び方法(中・高)	2	T	2	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(中・高)2	2	E	2	中学校のみ
		教育実習(中・高)3	2	E	2	
	教育実習指導(中・高)	1	R・S	1		
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	SIS	<2>	

修得単位：〔中学校30単位／高校26単位以上〕を修得すること

※「道徳の理論及び指導法(中)」は、中学校教諭免許状申請にのみ使用可能。高等学校教諭免許状申請には使用不可。
※「修得単位」欄で<2>と表示する「教職実践演習(中・高)」は、2年目(4年次)以降の履修科目です。

<大学が独自に設定する科目>

施行規則に定める科目区分等	開講科目名	開講単位	履修方法	修得単位				備考
				高校1種 中学校1種	高校1種	中学校1種	中学校2種	
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2	T	2	2	2	2	

※「大学が独自に設定する科目」の不足単位は、「教科及び教科に関する指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の超過分にて充足。

▶教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

法定基準	開講科目名	開講単位	履修方法	修得単位
日本国憲法	日本国憲法	2	T	2
体育	スポーツ論入門	2	T	2
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	T	2
情報機器の操作	情報処理入門	2	T	2

▶介護等体験

開講科目名	開講単位	履修方法	修得単位
介護等体験指導	1	R・S	1
介護等体験	1	E	1

中学校の教員免許状取得希望者は、履修が必要です。

【修了までに要する経費】

(概算・単位：円)

取得希望教員免許状・資格	入学時の必要経費 (1年目の学費含)	2年目の学費	スクーリング 履修費	実習費	修了までの 合計	テキスト代 目安	スクーリング	
							受講日数(目安)	科目数
中学校教諭1種・ 高等学校教諭1種「英語」	213,000	147,500	104,000	48,000	512,500	56,000	15日間	10科目
高等学校教諭1種「英語」			99,500	17,000	477,000	58,000	14日間	9科目
中学校教諭1種「英語」			104,000	48,000	512,500	54,000	15日間	10科目
中学校教諭2種「英語」					512,500	48,000	15日間	10科目

【「英語」中学校教諭2種免許状の取得を希望される方へ】

小学校教員として勤務経験が3年以上あれば、免許状認定通信教育を受講することで、「英語」中学校教諭2種免許状を取得することが可能です。詳細は、文部科学省宛申請認可後に本学ホームページまたはリーフレットにてご確認ください。